

ご三たいのおほかみさま、ご三たいのおほかみさま、ひつきの
おほかみさま、

くにとこたちのおほかみさま、とよくもぬのおほかみさま、

つきのおほかみさま、すさなるのおほかみさま、あめのかみさま、
かぜのかみさま、いわのかみさま、キのかみさま、かねのかみさ
ま、

ひのかみさま、ひのでのかみさま、りゅうぐうのおとひめさま、

やはよろづのいきかみさま、ことにいすずにます、

てんしょうこうだいじんぐうさま、

とようけのおほかみさまをはじめたてまつり、よのなかのいきか
みさま、

うぶすなのおほかみさまのおんまへに、ひろきあつきごしゅごの
ほど、

ありがたく、とうとく、おんれいもうしあげます。

このたびのいわとひらきには、千万いやさかのおはたらき、ねが
ひあげます。

あめつちのむた、いやさかに、さかへまさしめたまひ、

せかいのありとあるしんみん、ひとひもはやく、かいしんいたし

まして、

おほかみさまのみむねにそひまつり、おほかみさまのみこころの
まにまに、かみくに、

じょうじゅのため、はたらきますよう、おまもりくださいませ、
そのため、このたま、このみは、

なにとぞ、いかようにでも、

おつかひくださいませ、みむねのまにまに、

まことのかみくにのみたみとしてのつとめを、つとめさしていた
だくよう、むちうち、

ごしゅごくくださいませ、かむながらたまちはへませ、

いやさかませ。